

市職員人事異動

幅広い人材活用で公務能率を向上

市では四月一日付で職員的人事異動を行いました。異動総数は二百二十八人、市立総合病院(診療局・看護部)を除いた異動数は百九十七人でした。今回の異動は、退職職員の補充に伴う昇格と新採用の配置を主体としながら、幅広く人材を活用することと、職員の新陳代謝を通じて公務能率の向上・活性化を図ることに主眼が置かれ、総合的には適材適所主義を貫く積極的なものとなりました。

また特徴としては、県営大館第二工業団地の造成事業推進や特定行政庁開設準備などを考慮しての、係の新設や職員の重点配置などがあげられます。

課長級以上の人事異動は次のとおりです。

◆ 市長事務部局

企画調整課主幹 (広域市町村圏組合派遣) 菅原 靖夫
職員課長 山内 巖
管財課長 山本 康平
保険課長 安藤 紘
生活課長 安達 正則
環境衛生課長 田村 剛
観光物産課長 小玉 一宇

◆ 教育委員会

教育次長 石戸谷 普覚

◆ 水道課

中央図書館長 浅利 久夫
市民文化会館長 佐藤 春男

◆ 市立総合病院

課長 小林 義克

▽ 診療局

副院長(兼神経精神科部長) 林 進

第3内科部長

八代 均

眼科部長

三上 規

外科副部長 横山 昌樹

歯科副部長 佐々木 知一

▽ 看護部

看護部長 小林 花子

副看護部長(兼外来看護婦長) 大坂谷アヤ子

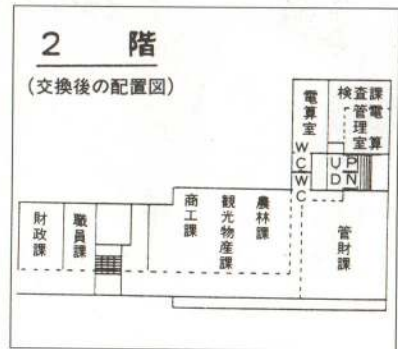
建築確認事務の準備で 建築指導係を新設

現在、県の土木事務所が行っている建築確認事務は、七年度から大館市に移管されることになっていきます。このため、今回の異動と併せ、都市開発課の建築係を建築指導係と営繕係に分割しました。建築指導係は、市が特定行政庁として建築確認事務を行っていくため、準備期間も含めて今年度に新設されたもので、営繕係は建築係の仕事を引き継ぐ形で名称が変更となったものです。

配置場所を交換しました 商工課と観光物産課

県営大館第二工業団地の造成推進などにより商工課に職員が増員となったことから、これま

での配置場所が手狭になったため、隣に配置されていた観光物産課と場所を交換しました。



新しくなりました 市民課の窓口案内板

住民票や戸籍などの受付窓口を示す案内板が、ボックス型の物と取り替えられました。内側から電気で照らす仕組みになっていますから、とても見やすくなりました。



市長 市リポート



No.65

世界一の木造ドーム

「大館多目的ドーム」提案競技(コンペ)の審査が行われ、優秀案が決まりました。私もコンペの審査に参加しましたが、秋田杉をふんだんに使った案が採用されました。これが建設されると、公設では国内最大規模、木造では世界最大というドームが大館に誕生することになります。市民の皆さんと共に大いに喜びたいと思います。

「大館多目的ドーム」の屋根構造は秋田杉の集成材を使うのが特徴で、集成材をつくる技術が県北地区に導入される可能性が大きく、地元産業振興という面でも大きな経済効果が期待されます。一条の光が見えてきた気がします。これがまた次のまち興しにつながっていくことになりましたから、運営面も含めて、是非ともこの事業を成功させなければならぬと思っています。

「木都大館」のシンボルとして、世界中から注目されるようなドームになるよう全力で取り組んでいきます。

小畑 元